

様式第 2 号（第 9 条関係）

会議録

会議の名称		令和 8 年度ふじみ野市一般廃棄物処理基本計画市民検討委員会 （第 1 回会議）			
開催日時		令和 8 年 6 月 2 4 日（水） 開会時刻 午後 1 時 3 0 分 閉会時刻 午後 3 時 0 0 分			
開催場所		ふじみ野市役所 本庁 3 0 2 会議室			
出席した者の氏名		役職名	氏名	役職名	氏名
		委員長	高原 サチ子	副委員長	鎌田 恭美代
		委員	関口 園美	委員	西村 正博
		委員	能登原 みどり	委員	関根 晃
		委員	笠谷 隆久	委員	永田 信雄
		事務局	吉村部長	事務局	坂本課長
		事務局	齋藤副センター長	事務局	横山係長
		事務局	野原主任	事務局	吉田主任
		コンサル	山崎 貴裕	コンサル	山本 菜々美
会議の議題		(1) 開 会 (2) 会長あいさつ (3) 議 題 ア 諮問事項について イ 一般廃棄物処理基本計画の改定について ウ 審議会開催スケジュールについて エ 廃棄物処理の現状について オ 計画に係る市民意識調査アンケート項目について (4) その他 (5) 閉 会			
会議の公開又は非公開の別		公開			
会議の非公開の理由		-			
傍聴人の数		0 人			
会議の内容		別紙のとおり			
会議資料		別添のとおり			
事務局		市民活動推進部環境課課			
議事の確定	確定年月日	令和 8 年 7 月 7 日			
	記名押印 又は署名	役職名 委員長 高原 サチ子 ㊟ ※自署の場合は、押印不要です。			

別紙

発言の要旨

発言者	発言の要旨
事務局 高原委員長 鎌田副委員長	1. 開会 皆様、こんにちは。お忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。会議に先立ちご報告ですが、本日、大野委員よりご欠席のご連絡を受けていますのでお知らせします。 進行につきましては、高原委員長よりお願いします。 それでは、会議次第に従い令和8年度ふじみ野市廃棄物減量等推進審議会第1回を開催します。開会を鎌田副委員長よりお願いします。 ただいまより、令和8年度ふじみ野市一般廃棄物処理基本計画市民検討委員会を開会いたします。
事務局 高原委員長	2. 委員長あいさつ それでは、高原委員長よりあいさつをお願いします。 （高原委員長よりあいさつ） それでは、年度はじめでもございますので皆様より自己紹介をお願いします。 （委員及び事務局より自己紹介）
高原委員長 高原委員長 高原委員長 高原委員長	3. 議題 それでは、議事を進めさせていただきます。まずは事務局より資料の確認をお願いします。 （事務局より配布資料の確認） それでは、審議に入らせていただきたいと思います。まずは事務局より本日の資料確認をお願いできないでしょうか。 （事務局より配布資料の確認） それでは、資料1（廃棄物減量等推進審議会への市長の諮問内容の報告について）につきまして、事務局よりご説明をお願いします。 （事務局より資料1について説明） ありがとうございます。ただいまのご説明についてご質問など

西村委員 事務局 高原委員長	ございましたらお願いします。 特にないようでしたら、大枠から具体に入りたく進めさせていただきます。 確認となりますが、審議会と本検討会の役割分担を確認させていただきます。 後ほど資料３にてご説明をいたします。 よろしいでしょうか。それでは、資料２（一般廃棄物処理基本計画の改定について）につきまして、事務局よりご説明をお願いします。 （事務局より資料２について説明） ありがとうございます。ただいまのご説明についてご質問などございましたらお願いします。 特にないようでしたら、資料３（委員会開催スケジュールについて）につきまして、事務局よりご説明をお願いします。 （事務局より資料３について説明）
高原委員長 西村委員 高原委員長	ありがとうございます。ただいまのご説明についてご質問などございましたらお願いします。 先ほど西村委員からのご質問にあった内容もご説明いただいたと思いますがいかがでしょうか。 組織の名前と役割がそのとおりであることがよくわかりました。 よろしいでしょうか。それでは、資料４（廃棄物処理の現状について）につきまして、事務局よりご説明をお願いします。 （事務局より資料４について説明）
高原委員長 西村委員 事務局 高原委員長	ありがとうございます。ただいまのご説明についてご質問などございましたらお願いします。 ご説明の内容はよくわかりました。その中で、２ページにある順位について令和６年度だけ５位になっているのは何か理由があるのでしょうか。 実のところ接戦でありまして、ふじみ野市だけが他よりも１０グラム高い訳ではございません。午前中の審議会でも同様のご指摘があったのですが、周辺市町村も同様の頑張りにより埼玉県全体の水準が上がっていることによると考えられます。同時にそのことは、良いことであるともご意見がありました。 とても良い傾向であると思います。また、資料４にあるとおり

関根委員	今後は資源循環の質を高めていくということでレベルアップを図っていくことは良いことと思います。 市町村によっては、なるべく施設で受けないところもある中で、ふじみ野市は分別数がすごく多い中でこの順位であるのは誇れることだと思います。
笠谷委員	家庭系ごみは目標を達成している中、事業系ごみを確認するとコロナ禍前は7,000t/年を超えていました。これに対し第4期の目標値は約5,000t/年と非常に高い設定となっております。高ければ高いほど達成感はあるのですが、状況変化を踏まえて中間見直しの段階では目標値の変更を行っても良いのではないかと考えております。 それから、8ページにウェルビーイングとのご説明がありましたが、やって良かったと思える取り組みのあり方についても考えても良いと思います。現状、中東戦争などの影響もある中、市民の感覚としてもリサイクル意識が高まっている状況なので、そのあたりも踏まえると良い方向にいくのではと考えています。 もう1点、質問として前回に議論となったリチウムイオン電池袋について、イラストも良くてわかり易かったのですが、その効果や問題が発生しているのかどうかを確認させてほしい。
事務局	リチウムイオン電池袋については、実施したばかりである中、好意的なお声をいただいている中ですがその効果はまだ確認できていない状況です。 環境センターにおいてもピット火災なども起こってはおりませんが、回収が進むことで効果は出てくると考えております。実際に市役所以外の拠点においても回収をはじめておりますが、1週間で回収箱いっぱいになってしまうことがあり、担当としても油断しないように管理しているところです。設置してみても所感としては、これまで処理に困っていた方々から出て来たという印象です。 それと目標値については、事務局でも話し合いをしまして、どの程度であれば適正であるのか、どの程度であれば市民の皆さんが頑張れるのかという議論は確かにございますので、皆さんのご意見をいただきながら整理したいと考えております。 もう1点ですが、不用品の話については私も経験がありまして、不用品回収についても審議会でも意見があり悪質業者への対策への対応も今後施策を整理する中で考えていく予定です。
事務局	ごみ処理について市民からお金をいただくという考えはございません。ふじみ野市が誕生した当初から、ごみの管理は出すべき人がやるべきであるという考えは一貫しており、その流れでペットボトルやかんのネット収集などの制度を進めてきました。市民

笠谷委員 事務局	の皆さんの税金をたくさんつかってごみ処理をして良いのであれば違いますが、市民の皆様の努力によってごみ処理経費が下がったとするならば、その分を例えば教育委員会の図書館に還元するなど、何らかに還元するというのもあると考えております。これだけ減量化が進んでいる中、市としては思想ばかりでなく、実のある計画づくりをするためみんなにわかりやすい何かがあれば良いのではと考えております。 やはり目標値は時代とともに見直しても良いのかと思います。 あと1点なのですが、どこの自治体も今後抱えていかなければいけない問題として、石油価格の高騰がある一方で収集運搬も今後続けられるかという問題があります。それに対し、ごみを減らしてもらえれば当然に収集運搬費も下がるということにもなると思っております。
関根委員	燃料については政府の補助金で助かっておりますが、エンジンオイルなどは手に入らない状況です。また、人件費の高騰もあり新人が入ってこないという課題もあります。
高原委員長	よろしいでしょうか。それでは、資料5（計画に係る市民意識調査アンケート項目について）につきまして、事務局よりご説明をお願いします。 （事務局より資料5について説明）
高原委員長	ありがとうございます。ただいまのご説明についてご質問などございましたらお願いします。
鎌田副委員長	このアンケートはQRコードから読み込むといったことはお考えでないのでしょうか。
事務局	今回のアンケートは前回と同様に考えておりますが、小中学校はタブレットでの実施を考えております。
鎌田副委員長	どちらでも回答できる方法は考えなかったのでしょうか。2,000人ですと集計も大変ですし入力も早いと考えております。また、手書きであれば自由記述欄を設けないのでしょうか。普段、言いたいことが言えないのも勿体ないほか、自由記述欄を設けるなら電子版の方が良いと思いました。
事務局	ありがとうございます。本アンケートは環境係が策定する環境基本計画の策定過程で実施するところもございますので、そちらとも検討してみたいと思います。 業務委託先の都合もございますが、時代を考えますとこれからはやっていかないといけないなと思いましたので次回こそはと考えております。
鎌田副委員長	2,000人のうちスマートフォンを持っていない方も一定数いらっしゃると思いますため両輪になるかもしれませんがご検討

高原委員長 鎌田副委員長 事務局	いただけると良いと思います。 2, 000人の選別はどうやってやるのでしょうか。 無作為とお聞きしております。 地区別に無作為に偏りがなきように抽出することを考えております。
高原委員長 事務局	難しい調査と思いますが、これは今回が初めてなのでしょうか。 毎年やっております、前回は4, 000人を対象に700部ほど返ってきたと聞いております。今回は対象数が半分ですが前回と同じ以上が返ってくればと考えております。
鎌田副委員長 笠谷委員	本当は、回答すれば何か貰えるということがあればと思います。 意識的に避けているのかと思いますが、男女別データが役に立つのか立たないのかが気になっております。調査票の冒頭に男か女かその他（答えたくない）という選択肢を設けて上手にお聞きすれば良いのかと考えております。一方、ジェンダーの問題も出ているため難しいところですが、その他（答えたくない）という事で上手に乗り切っている場合もあります。設問の仕方によってはいいのかなと思います。
事務局	元々のたたき台にはそのような設問がございました。しかし、女性であればどうか、男性であればどうかを無理に分析するのは如何なものかと考え今回の形といたしました。
笠谷委員	わかりました。それと、5ページに生物多様性の説明が入っているのですが、アンケートを取るに当たり行政のスタンスは必要ないのではと思いました。
事務局	生物多様性が何かを明示することを考えておりましたが、行政としてのスタンスについては検討させていただきます。
鎌田副委員長	アンケートは世帯で答えていただくのも良いのかと思いました。世帯のうち、お母さんが答えてしまうと女性の立場から答えてしまうことにもなってしまうと思いますが。
笠谷委員 高原委員長	先ほどご意見あった、自由記述欄を設けることは賛成です。 世帯単位でしますと家庭内でも話し合っって非常に良いものになると思います。その一方、かなり細かく聞いているので分析も大変になると思いますが、結果を楽しみにしたいと思います。
事務局	それでは、その他に入りたいと思いますが何かございますでしょうか。 本日の内容としては以上になるのかと思いますが、今後、検討を進めるに当たりご意見をお伺いしたい内容がございます。本日は家庭系ごみに限って少しお話をしますが、現段階で例えば分別の区分をこれ以上細分化すべきだといったご意見はございますでしょうか。例えば、土曜日も収集をするといった考えはないので

高原委員長	すが、何かご意見があればいただければと考えております。 皆さんいかがでしょうか。 私は以前よりみどりのごみを区分に入れていただきたいと思いました、アンケートの中で、布団など新しいものも出てきているのですが、量を考えると公園などで出て来る草木などについても分別ができると良いと考えております。
西村委員	ごみの分別についてはとてもわかりやすく紹介されているので、それについてはこれ以上ないです。ただ、確認したいこととして資源ごみについてですが、例えば雑紙については収集日にステーションへ出す方が良いのか、スーパー等の資源物回収に出す方が良いのかということがあります。ステーションに出せば家庭系ごみにカウントされますし、スーパー等に持っていくとカウントされないのどっちに持っていけばいいのかという問題がある。これまでは、少しでもスーパー等に持って行ってふじみ野市のごみが減れば良いと考えていたのですが、最近は面倒になってきまして収集日に出すようにしていますが、果たしてどちらが良いのかという問題があります。 それからもう1点は、先ほど委員長がおっしゃっていましたが、不用品の回収があります。意外とよく利用しておりまして、例えばテレビであれば電気屋さんにもっていくと5,000円くらいとられますが不用品屋さんに出すと2,500円くらいで済みます。一応、領収書をいただいて出した証拠も残しているのですが、リサイクル券を買う場合は、自分で券を買い、所定の場所までもっていく手間が出てしまう中、不用品の扱いはあるのですが、それがなくなれば利便性が高く個人の負担も減ると思いますが、これが果たしてどうなのか。資源ごみの件と不用品の扱いについて迷うところがあります。
事務局	我々としてはステーションに出たものは、最後にどうなるのかを含め、責任をもって管理することとなっています。一方、不用品回収については、山や川に捨てられる可能性もありごみ処理が負えない状況にあります。不用品については処理が高いか安いという議論はありますが、ふじみ野市の一般廃棄物処理の責任者は高畑市長でありますので、不用品回収業者さんにおかれましてはちゃんとした会社なのか、ごみステーションから資源物を持ち去ってどこかに売ってしまう場合もあるので色々と厳しいかなと考えております。 あと、ヤオコーさんやイオンさんに行っているものについて市側で処理先を追えている訳ではないのですが、どこのスーパーがどんなサービスを行っているかある程度把握はしております、その中で、持ちこむとポイントを貰えるということもあり、こういったことが先ほど議論に上がりましたリサイクル率に影響がある

関根委員	のかを含め状況を整理しているところです。 それと、ふじみ野市の事業系ごみはもやすごみだけを集めて処理をしている中、関根委員より収集した事業系の資源ごみの扱いについてお話をいただけないでしょうか。 その話の前にスーパー等の資源物回収に持っていかれる件数と自治会で回収されて古紙問屋さんへもって行って、そのお金をマンションの管理組合に還元といったケースもございます。その一方、紙ごみの発生量がとても少なくなってきております中、我々のリサイクル組合に加盟する紙問屋さんが撤退を表明された場合もあります。これは時代の流れなので必ずステーションに出した方がいいとも言えないことに加え、新聞を読まれない方や電子書籍を読まれる方もいらっしゃると思いますので善し悪しを別にしてそういった流れがあるのだと考えております。 次に事業所から発生するごみは事業活動により利益を生んでいるわけですので、資源物は市さんが勿論回収しておりますが、事業系一般廃棄物のうち4品目は22円/kgで処理をされているところです。しかし、47円/kgまでかかる処理に加え燃料費などもかかってくる中、それを22円/kgで処理し続けて、その差額を市民の税金で賄って良いのかという話がある中で、ふじみ野市さんだけ50円/kgというわけにもいかないところもありますが、そういったところは全市町村で議題になるものと考えております。 あと先ほどのリチウムイオン電池については蛍光灯と同様に製造物責任があるはずであるので、業界に半分くらいは請求しても良いのではと思うところもあります。そういったことから、環境行政側の費用を下げていくことも必要であると考えております。
事務局	事業系ごみの22円/kgなのですが、他の市町村からも上げるという話は出てきております。我々としてもいくらが良いのだろうということもあるのですが、良い水準を検討していきたいと考えております。 その一方、料金を上げればごみが減るのかという問題がある中、事業者さんは法人税を納めているところもあるので、税金とごみのバランスも見ていく必要があると思います。その点、全コストの例えば3割くらいは市民負担で7割部分は事業者さんがお金を出すべきというお話もあります。ふじみ野市は家庭系ごみの有料化も考えていないため、事業系だけ上げるということでもなく、全体的なバランスを見ながら考えるのが良く、粗大ごみについても人件費が高騰している中、料金を上げるべきかなどは皆様のご意見を踏まえて決めていければと思います。
高原委員長	ありがとうございます。色々のご意見をいただきましたが今後検討していければ良いかと思います。 他になれば事務局よりご連絡をお願いします。

事務局	次回につきましては、資料３のとおり８月２４日（月）の１３時半から開催を考えております。資料は開催前１週間前を目処に事前送付させていただきますので、よろしくお願いいたします。
高原委員長	ありがとうございます。ほかによろしいようでしたら、副委員長より閉会をお願いします。
鎌田副委員長	以上をもちまして、令和８年度ふじみ野市一般廃棄物処理基本計画市民検討委員会を開会いたします。
	以上